

〒143-0061 東京都大田区石川町1-14-11
グリーンヒルズ大岡山102号

TEL 03-6421-8320 FAX 3728-5071
Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R 東 海 労 働 組 合

発行人 小林 光昭
編集人 高山 浩

2016年
1月1日
第369号



<http://www.geocities.jp/jrtoukairou/>

闘春



J R 東 海 労 第 20 回 登 山 大 会 よ り
2015年11月28日、箱根・金時山

全ての闘いをたしるかおる応援 プロジェクトに結実させよう!

中央執行委員長 小林 光昭



新年明けましておめでとうございます。組合員・OB、そしてご家族の皆様方におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。
昨年は、安全保障関連法が強行採決されるなど、安倍政権の暴走に一層拍車がかかる事態となつてしまいました。世界に誇れる憲法9条の下で、平和主義を貫いてきた日本は、再び「戦争をする国」へと大きく舵を切ることとなつてしまいました。また、民主主義、民意を無視する安倍首相は、労働諸法制改悪や原発再稼働など、私たちの生活を脅かす政策を矢継ぎ早に推進し、誰もが平和で安心して暮し働ける社会に逆行する政治を、「我が世の春」を謳歌するがごとく強行しています。

一方、職場では、700系新幹線電車交番検査周期延伸などにより、東京・大阪の車両所合わせて56名にもおよぶ要員削減計画が明らかとなりました。リニア中央新幹線建設のための経費節減が、いよいよ本格的に働く者へのしわ寄せとして具体的な形となつてきました。今春のダイヤ改正においても、効率化と経費節減、営利優先などが貫かれようとしています。

これら会社諸施策をスムーズに推し進めるための、労務管理・労組破壊攻撃も止むことがありません。昨年末のボーナスでも、4名の組合員がカットされました。全く許すことができません。引き続き労働審判、本人訴訟をはじめ、職場からの闘いで跳ね返していきましょう。

私たちは、今年8月11日結成して25年を迎えます。結成の理念は、真の安全確立と当たり前の労働運動を職場から展開することでした。いま、あらためて職場から立ち上がった、25年前の熱い思いを胸に奮闘しようではありませんか。社会の、そして職場の理不尽に憤りを感じている仲間が多く存在します。全ての仲間たちと共に、世の中を変えていくために奮闘しましょう。

そして今年も、何としても、たしるかおる応援プロジェクトを成功させるために全ての力を出し切らなくてはなりません。一切の組織破壊攻撃を跳ね返し、JR総連に結集する仲間たちと連帯し奮闘しようではありませんか。

本年も、組合員・OBの皆さん、そしてご家族の皆さん、気持ちを一つに引き続きお力を賜りますようお願い申し上げます。中央執行委員会を代表し新年のご挨拶とさせていただきます。

安倍政権の暴走を止めよう!

JR総連執行委員長 武井 政治



新年にあたり、組合員・ご家族の皆さんにご挨拶

昨年、安倍政権は憲法違反の法律を強行採決によつて成立させ、同時に民主主義を否定する国会運営が頻発するなど、政権の暴走に拍車がかかり、『試練の年』になりました。特に昨年9月19日、集団的自衛権の行使を可能とする「安全保障関連法」戦争法を強行採決・成立させたこと

は、明らかに憲法第9条の違反です。そして、安倍政権の掲げる「一億総活躍社会」は、「国家総動員法」を想起させます。安倍首相を支える右派運動組織は、「憲法改正の機は熟しつつある。参院選を目標に力を結集しよう」と氣勢を上げています。今夏の参院選は、「日本が戦争をする国」になるのか、否かの分水嶺になります。

新年にあたっての決意

参議院議員 たしろ かおる

2016年は日本の将来を左右する年です。新しい年を迎えるにあたって、私は、改めて組合員とご家族の皆さんのご期待に添えるよう、国政において全力を尽くしていく決意を新たにしました。

この1年私たちを取り巻く状況は大変厳しく、昨1年間で大きく変化した政治状況、社会状況のもと、一つひとつ運動を積み上げて、私たちが求める社会に変えていかなければならないと考えています。そのためにも私が最優先にしなければならぬことは、2015年8月8日大宮ソニックシティで開催された大集会で託された組合員の皆さんの切実な声である政策課題・要望の実現であり、私は国政の中でしっかりと働かなければならないと感じています。

そして、昨年の憲法違反の安保関連法の成立をもつて、再び戦争という最悪の航路に舵を切った日本を、何としても戦争をしない平和な日本を取り戻すために舵を切り直さねばなりません。

また、戦争のない平和な社会の実現のためには、そこで暮らす人々が安心して生活を送ることのできる社会にしなければなりません。そのため



従つて、「与野党逆転」を実現するために、参院選は絶対に負けられない闘いであり、「たしろかおる応援プロジェクト」を最重要課題と位置づけ奮闘しましょう。

組織破壊攻撃や政治的弾圧を許さず、労働組合の団結権を守り不退転の決意で奮闘しましょう!

「職場からの挑戦」で、安全・働きがいのある職場の実現! 人権・平和・民主主義の確立、そして公正・公平な社会の実現を自らの手で切り開きましょう!

に、交通基本法に基づいて、だれもが安心して利用できる公共交通の確立を目指します。また、非正規雇用という雇用形態を解消し、真面目に働きさえすれば、将来設計を建てられる雇用形態を目指さなければなりません。そのことが老若男女、障がいのある人もない人も安心して暮らせる日本になるための明るい未来を切り拓く道になることは間違いありません。

私は新年に当たり、JR総連・JR東海労の組織内議員として組合員、家族の皆様と共に、平和・人権・民主主義の確立した脱原発社会、えん罪ゼロ社会・日本をつくるため先頭で闘うことを決意します。共に、頑張りましょう!

振り返る2015年の闘い! 今年も全組合員で闘おう!

闘いはさらに続く!



三重県労働委員会勝利(10月21日)



平和といのちと人権を! 5・3憲法集会



JR総連省庁要請行動(2月13日) これにより名古屋駅出区点検が改善



中国平和研修(10月13~17日)



安保法案反対12万人集会(8月30日)



2015春闘セミナー(3月8日)

平和の社会を目指し、職場から地域から闘う！

各地本委員長、OB会長から新年の闘う決意表明

平和運動のうねりを広げよう！

新幹線地本執行委員長 成田 隆浩



明けましておめでとうございます。

昨年、安保関連法をめぐって、各地の労働組合から、憲法9条を守るための闘いを展開しました。しかし、一方では成果もありません。新幹線地本の組合員や家族、OBの多くは「この反対の闘い

の場に一度は立たなくてはならない」と、自発的に国会前に結集しました。同様に一般の市民や学生も立ち上がり、前進させるのは我々の課題です。

また、今年のダイ改では、交番検査の要員を大幅削減する提案がされています。リニア建設のために、これからの要員・コスト削減は必至です。この反対の闘いを通じて、組織の強化・拡大が我々に問われています。JR東海労結成25年の節目の年に飛躍のために、さらに闘いを強化しましょう！

憲法9条を守り広める！

静岡地本執行委員長 山本 繁明



共に新年を迎えられた全ての仲間の皆さんにお慶びを申し上げます。昨年、戦後70年の節目に、日本の安保政策を大

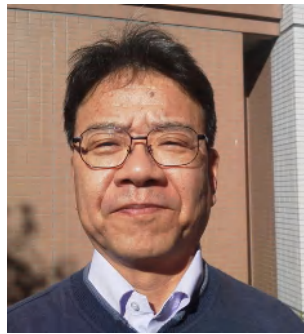
きく転換する安保関連法が、民意を無視して国会で強行採決されました。安倍政権の暴走により、憲法9条はいまや風前の灯火です。私たちは2016年を希望と決意をもって、国民として労働者として、その持てる権利と民主主義と労働条件を守るために、全ての連帯する仲間と共に奮闘し

ていかなければなりません。私たち静岡地本は、地域から職場から未来に展

望を繋げていくために、2016年を、地本全組合員・OBの総力を挙げて前進する決意です。

三労委勝利の教訓を更なる闘いへ

名古屋地本執行委員長 山田 哲也



新年明けましておめでとうございます。

2013年3月25日、不当労働行為救済を申し立てていた「掲示板三労委」に対して、三重県労働委員会は昨年10月21日に、私たちの主張を全面的に認める命令を下しました。この闘いによって、

組織の強化と多くの成果を勝ち取ることができました。この成果を全体化しながら、新たな闘いの場を闘っていききたいと思

戦争が現実のものになるうとしています。私たち名古屋地本は、安保関連法を撤回させるまで、平和を求める全ての人々とJR総連の仲間とが立ちスクラムを組んで、反戦・平和の闘いを強化していきます。本年もよろしくお願

闘いにはこだわりを持つ！

新幹線関西地本執行委員長 小林 國博



JR東海労結成から25回目の新年を仲間の皆さんと迎えられたことにお

慶び申し上げます。今年も私たち労働者にとって厳しい年になると思います。こんな時代だからこそ、騙されないように、流されないように、こだわりを持って共に闘いましょう。

ありませんか！ 本年もよろしくお願

します。

OBは現職と共に闘う！

OB会長 宇留生 泰雄



明けましておめでとうございます。

安倍政権は、次の参議院選挙で3分の2以上の議席を確保し、一気に改憲に動いています。盗聴法、秘密保護法、違憲と言われる安保法などを数々の力で成立させ、平和国家から戦争の国家へと一気に変貌させようとしています。次の参議院選挙は、選

挙権が18才以上となる最初の選挙です。一人ひとりが今、戦争か平和かの岐路に立たされていることを肝に銘じ、平和で安全な国を目指し、皆さんと共に奮闘します。

リニア建設は、多くの問題を残し、各地の反対の声を無視し、一部で着工されました。リニア建設は、現職組合員への差別や労働強化となつて現われていきます。リニア反対の闘いを現職の皆さんと共に担っていきます。最後に、たしろかおる応援プロジェクトを成功させるために、OB会は全力を尽くし、共に奮闘

各地本新春旗開き日程

- 新幹線地本 1月9日13:00 中小企業センター
- 静岡地本 1月12日15:00 静岡労政会館
- 名古屋地本 1月19日13:30 アビタン
- 新幹線関西地本 1月11日13:30 西町甲東会館

たしる議員がJR東海労の要請をサポート!

JR総連主催、省庁要請行動

JR総連主催の省庁要請行動が昨年12月15日開催されました。要請は、国土交通省、厚生労働省、総務省で行いました。要請行動には、たしるかおる参議院議員、JR総連及び各単組が参加し、JR東海労からは本部と各地本の代表者が参加しました。今回の要請行動は、昨年の「8・8大集会」でたしるかおる議員に託した各単組がつくり上げた政策提言をもとに行ったものです。

休失効や強制的休日出勤について、②高齢者雇用制度についての5項目です。

厚生労働省においては、専任社員について特に在来線の乗務員の労働条件改善を求めました。

何よりも、「自宅からわざわざ遠い職場に配属せず、近い職場に配属し、65歳まで働ける条件つくるべき」と訴えました。これについても、たしるかおる議員は「努力義務は企業はやらない。実効性のあるものに転換すべきだ」と、サポートして頂きました。

成田委員長に続くぞ!

安野さん、土屋さんが労働審判に決起!

新幹線地本成田委員長へのボーナスカットに対する本人訴訟第4回口頭弁論が昨年12月16日、開廷されました。

原告・被告側ともに準備書面の提出を終え、立証準備に移りました。次回以降、証人等を含めた進行協議を1月18日に行うことが確定しました。

同日、東京第一運輸所分会の安野浩之さん、三島車両所分会の土屋浩一さんは、2015年夏季手当5%カットの撤回と減額分の支給を求めて労働審判の闘いに決起しました。新幹線地本は、二名の闘いを支えていく

JR東海労が要請した項目は、国土交通省が①新幹線火災事故対策について、②東海道新幹線の津波対策の確立について、③リニア中央新幹線建設について、厚生労働省が①要員不足による年

特徴的には、JR東海労から新幹線津波対策について自治体のハザードマップについて見直しと整備の推進を要請しました。弁天島駅付近の写真を配布し、「3・11東日本大震災の時、在来線が止まっているのに新幹線は安全という理由で運行停止しなかったことはおかしい」と訴えました。そして、たしるかおる議員が「在来線は止める対象で新幹線が関係ないというのは、国土交通省として価値観をハッキリするべき」と、JR東海労の発言をサポートして頂きました。



国交省藤田鉄道局長(左)に意見を述べるたしる議員(奥左)



JR東海労の参加者

本人訴訟いよいよ大詰め

前田さん、竹本さん 証人尋問終え、結審

大阪第二運輸所分会・前田稔さんの本人訴訟第9回口頭弁論が12月3日、大阪地方裁判所で開催されました。

傍聴券獲得のため、新幹線、静岡、名古屋各地本からも応援に駆けつけました。

一方会社は、50名以上の管理者を動員しました。その中には、今回の裁判とは直接関係ない車両所の管理者11名が動員されていました。前田さんは、ボーナスカット理由とされた「非



第9回 前田さん本人訴訟お疲れ様でした!

違行為」を報告した管理者(当時を含む)8名(菊



土屋さん



安野さん

め「ボーナスカット攻撃粉砕!12・16総決起集会」を日本橋公会堂で開催しました。

池、伴新井、辻井、上田、中嶋、雨川、新田証人)対して、堂々とした確な反対尋問を行いました。前田さんの「注意指導、データ入力を一人でやっていくことで捏造も可能ですか」との質問に対し、証人は「状況的には可能です」と報告書を捏造できることを認め、報告書以外に客観的に証明できるものが何もないことが

明らかになりました。今回の証人尋問で結審となり、判決は3月24日です。また、竹本真一さんの本人訴訟は、昨年10月9日結審し、判決は1月25日です。共同ボーナスカット本人訴訟(山口さん、田川さん、島津さん、渡邊さん)は、2月29日第4回口頭弁論が開催されます。

鉄道ファミリーは
組合と共に歩み
皆様をしっかりとサポートします

迎春



今年もよろしく
お願いします

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862
健康食品部 直通 03-3493-0289